

みんなの 第8号 さくらちゃん

2011年8月1日
発行

おしゃべり



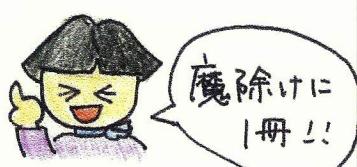
日本中“おかしく”ないですか？

「介護者」「介護職」「医療者」のあなた！<生きて>いますか？<活きて>いますか？=<生活><生活>=<暮らし>はしんどいこともあるけど、楽しいことがある…。人としての感性を持ち願いも夢も持て、自分が必要とされる人間でありたい。その人の人生ではその人が主役－「車いす」にあっても「認知症」になつても。「で抜き」を奪つていませんか？「待つない」自分がいませんか？－強くないと、優しくなれないと

まちゃんのつぶやき

東日本大震災により被害に遭われまして
皆様に心よりお見舞い申し上げます

トピックス



まじくる介護つどい場 さくらちゃん

雲母書房(1800円・税抜き)好評発売中!!
全国有名書店、amazonでも取り扱われていますよ

月刊アリコレージュ 6月号

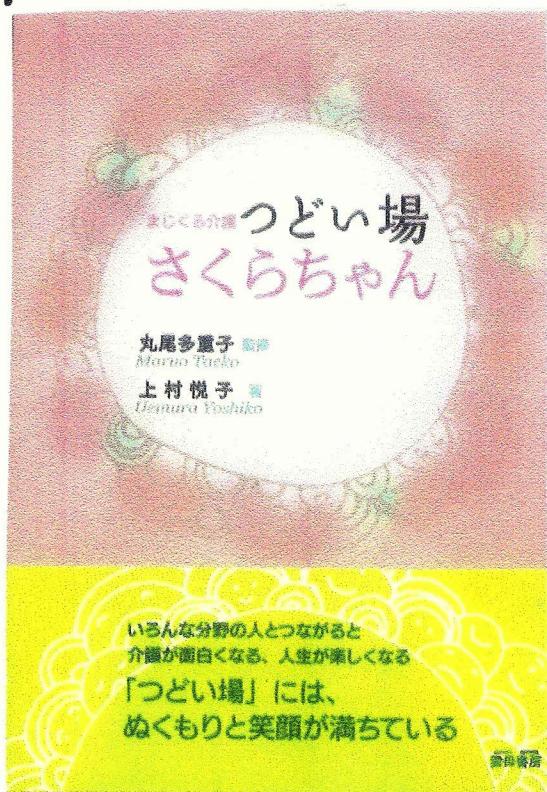
特集：2011年は認知症薬害え年になる!
「介護職は本人の代理人者でありたい」まるちゃんの寄稿

毎日新聞 阪神版

「かいごのいろは」
さくらちゃんメンバの話と
毎回まるちゃんのキ×台詞つき!

ロハスメディカル(<http://lohasmedical.jp>)

「自然に『死』と向き合える社会に」さくらちゃんメンバーの介護の話
「介護者たちの共感の場が家族の力を育てる」つどい場について





学びタイ

会場に来て
くれたみんなこ



か(介護)い(医療)ご(ご近所)学会

2011年3月6日(日)

関西学院大学にて

大盛況で開催され
ました。

アリカと



(田島海江)に会いにきて
11月6日(日)
鳥海房枝さん
講座決定!

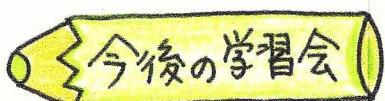


イケメン歯科医

6月30日(木)野原卓久司さんによる 第3回「認知症の方の嚥下リハビリ」
目からウロコのお話いっぽい!!



もっと
たべるといこうことにこだわろう!!



順次ホームページにて更新します



check

9月9日(金) ラックヘルスケア 車椅子について

10月2日(日) 浜田きよ子さん おむつについて

12月3日(土) 下元佳子さん ホジショニングについて

12月15日(木) 野原卓久司さん 嚥下について



注)さくらちゃんではこんな
一方的な見守りは致しません
(笑)

みまもりタイ

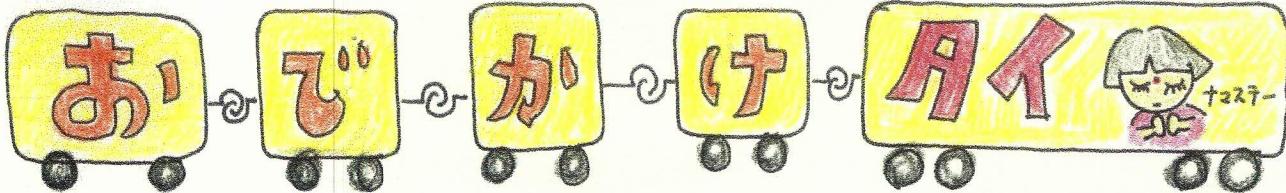
平成'23年度事業スタート致しました♪

(平成'22年度報告)

西宮市委託事業 利用者数 13名 / 利用回数 256回 / 利用時間 445.8h

つどいき場さくらちゃん独自事業 利用者数 35名 / 利用回数 102回 / 利用時間 1318.75h

さくらちゃん独自事業ではお話し相手や見守りなど「くらしの中でのちょっとしたお手伝いを行っています。見守りに入っている方から「便が出ないんですね~」という悲痛なお電話が...そんな時に優しく「訪問看護師さんの番号は~」と時にはそんなことも(笑)みまもりタイは今日もどこかで元気に活動中!!



いちご狩り

3月31日
はりテラスにて

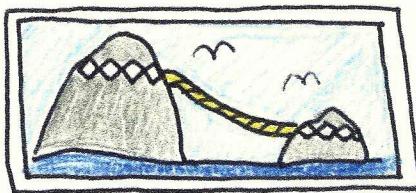


おじいちゃん
おばあちゃん
あらん
僕樂し
かっただ。
よた来年も
行こうね



—お孫さんと一緒に
いちご狩り樂みました—

今回は北海道旅行が延期となり秋に「お伊勢さん参りと鳥羽を楽しむ1泊2日の旅」になりました。
お楽しみに♪



さくらちゃんの「リボ」



—今回のテーマは「さくらちゃんグッズ」—

～布ぞうり糸編～

綿100%の生地を選ぶことからはじめます。生地を裁ち1本1本丁寧にミシンをかけてヒモ状にします。まっすぐ縫うので時には4時間もミシンをかけ続け何台も壊してほど… 繩を芯に組みあげていきますが、縄の“けばけば”“だらけ”に部屋がなってしき程度。
慣れた方で1足組みあげるのに3時間かかりますが、しっかり組みあげた布ぞうりははきごこちも良^mバッテリ。何度も洗濯しても大丈夫でたくさん愛情のこもった布ぞうり是非この夏おためしあれ。

私達3大美女がじめて
作ってまーす♥





リレートーク

おふたり目 西宮在住 Mさん

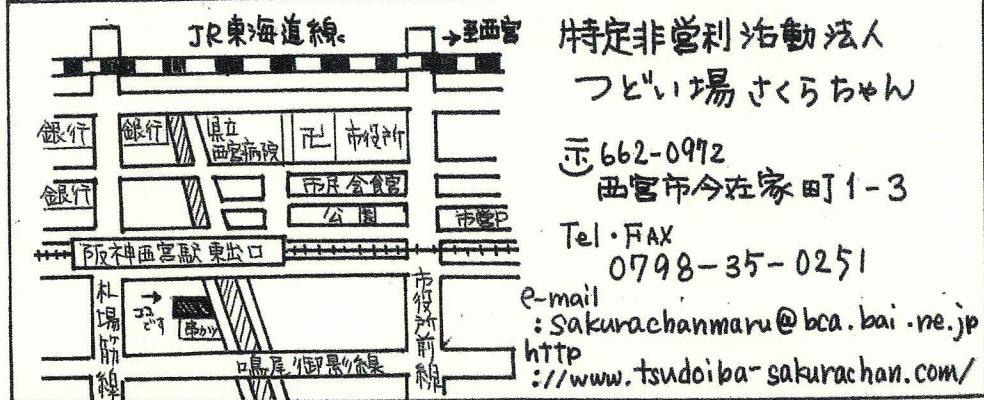
つどい場 さくらちゃんにやってくるメンバー
やボランティアさんたちに、毎号 おひとりおひとりの
「つどい場」をお詣して頂き、つなげゆくへーッジ
です♪



言語失症の旦那さんを介護されていたMさん。さくら会に入会した時、介護歴の長い方の話を圧倒されたよう。初めこそ馴染めなかったものの、「少しずつさくらちゃんにも来られるようになり おでかけ隊のカニツァーにご夫婦で参加したそうです。『いろんな人の話を聞いてみるとことの大切さを感じます』と。旦那さんが骨折れ入院され毎日食事介助に通いました。様々な事情もあり、車椅子入院生活が続くのですか、そこでMさんの望まない医療的処置を止めました。「病院に頼りすぎていました。自然のままでお父さんを見てあげたいと思ってさくらちゃんにいても大丈夫です」と駆けこみました」その時の感情は「怒り」だったそうです。病院から「脱出」レズ宅介護がスタートしました。口から食べることは無理だと勝手に鼻腔(びく)栄養のチューブを入れてもらいましたが、家に帰ってきてから往診に来てもらった医師がひとくち水を含ませると(っかり飲み込んだのです)。思わず上上がる歡声。温い人の手と、心強い在宅医や訪問看護師さん、娘さんやお孫さん達に見守られ旦那さんは静かに眠りにつきました。「10日間の在宅介護だったけれど充実し満足した日々を過ごせました。介護を通してつながった出会いも多く楽しかった。もちろん本当にこれでよかったです!」と迷うこともあるけれど、「お父さんの介護については誰にも負けてないし胸をはれる。これからゆっくり私のできる事を探したい」穏やかで優しい笑顔の旦那さんの写真と一緒に描かれているMさんの笑顔はとても素敵でした。

～編集後記～

ジトジト
あめもいやですか
カニカン 照りも
はて、これ女術に…。
熱中症で倒れないよう
皆様気をつけてこの夏を
のりきりましょうネ (さみさみ)



特定非営利活動法人
つどい場 さくらちゃん

〒662-0972
西宮市今在家町1-3

Tel・FAX
0798-35-0251

e-mail
:sakurachanmaru@bca.bai.ne.jp
http
://www.tsudoiba-sakurachan.com/